別紙1　参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
東みよし町	足代地区	令和3年7月2日	－

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	146ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	94ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	44ha
i　うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	16ha
ii　うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	－
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.9ha
（備考）	

2　対象地区の課題

■人
・農業従事者の高齢化が進んでいる。
・後継者が不足している。
・兼業農家が農業者の大多数を占める。
■農地
・耕作放棄地が増加傾向にある。
・獣害被害が増加している。
・農地転用により、優良農地が失われている。

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

数年後には現在の農業従事者の多くが規模の縮小、離農することが予想される。

農地を遊休化させる前に中心経営体が受け入れることで集約する。

4　3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

①担い手への農地集積・集約化
・効率的に集約するために、定期的に集落での情報交換・協議を行う。

②販路の拡大
・地域おこし協力隊の採用など、販路拡大に繋がる事業を行い、中心経営体の農業所得の向上を図る。

③新たな担い手の育成
・新規就農者に対する補助金を拡充する。

④鳥獣被害防止対策の取組方針
・効率的に対策できるように集落単位に檻の貸し出しや電柵の設置を行い、被害防止に努める。